

2012 園長だより5月

太陽が消える朝

= 5月21日の金環食にあたって =



偶然ですが、太陽と月の見かけの大きさはほぼ同じです。

では、どのぐらいの大きさでしょう。

腕をいっぱい伸ばして眺めたとき

1. 直径 30cm のお盆の大きさ
2. 500 円玉の大きさ
3. 10 円玉の大きさ
4. 1 円玉の大きさ
5. 5 円玉の穴の大きさ

よく「お盆のような月」と歌われているので、お盆かなと思う反面、500 円玉や 10 円玉も有力に感じられます。1 円玉と 5 円玉の穴となると、ちょっと小さいかなという印象です。

正解は一番小さな 5 円玉の穴で、太陽もほぼ同じです。ほぼというのは、太陽の方がわずかに大きいのです。

ご存知のように、日食は太陽と地球の間に月が入り、それが一直線に並んだ時に起きる現象です。太陽が月にすっぽりと隠されてしまう珍しい天文現象です。金環食は、その中でもさらに珍しい天体ショーで、自宅で見られるのは極めてラッキーなこと。まさに千載一遇のチャンスです。

今回、この金環食を見てもらおうと、園で太陽観測グラスを用意しました。対象はゆきぐみとほしぐみの皆さんです。

日食開始が午前 6 時 20 分、金環食開始：7 時 33 分～金環食終了：7 時 38 分、日食終了が午前 9 時 4 分です。

観測は必ずグラスを用い、太陽を直接見ないようにしてください。また、金環食が始まると、日没後 20 分の暗さになりますので、ご注意ください。金環食の 5 分間は、観測グラスがなくても太陽の変化を感じ取ることができます。ただし、この場合も太陽を直接見ることは避けてください。

保護者の安全管理のもと、世紀の天体ショーをぜひ楽しんでみてください。 園長 今泉文彦